

●1分で見える世界景気／2018年5月末から見た2018年6月動向

※世界同時好況と複合リスク（米国中間選挙、米国利上げ、地政学、貿易関税）が同居する踊り場で、日本は次の準備がしたたかにできるか？

欧
州

英国/EU離脱、残り約1年

EUが移行期間20年末までを承認
4月にEUと英の自由貿易協定の協議開始
・17年GDP+1.9%→+1.8%

2018年政治リスク

イタリア首相にコンテ氏の可能性も

政治、地政学、貿易関税リスク

EU

1-3月GDP+1.7%（前期比、昨年10-12月2.7% 寒波の影響か？本格的な原則か？
欧州委員会が加盟国負担増を提案へ（貢献国×受益国）

欧州中銀

ユーロ圏国債利回りに先高感
・イタリア国債2.1%台へ

中国

地政学&貿易関税リスク

18年経済成長率目標 6.5%前後
※17年GDP+6.9%（昨年6.7%）

18年1-3月期 ※（ ）は前期比

- ・建設、不動産低迷
- GDP+6.8%（+6.8）
- 輸出+14.1%（+7.9%）
- 固定資産投資+7.5%（+7.2%）
- 工業生産+6.8%（+6.6%）
- 実質個人消費+5.4%（+5.4%）
- 不動産販売+3.6%（+7.7%）

世界同時好況と複合リスク（米国中間選挙、米国利上げ、地政学、貿易関税）が同居し、秋までは踊り場か？

トランプ政権

米国

大型減税で個人消費や企業投資は増加と見込まれる

地政学&貿易関税&中間選挙リスク

景気底堅さを維持

4月雇用+16.4万人、失業率3.9%
2018年1-3月GDP+2.3%でやや鈍化
（前期比、昨年10-12月2.9%）

FRB 来月利上げか

4月新車販売▲5.3%（前年同月比）
・新築戸建販売件数4月▲4.6%（前月比）

日本

地政学&貿易関税

1-3月は踊り場 穏やかに再拡大

・4月失業率2.5%、訪日客1-3月+17%（前年同期比）
消費1兆1343億円
1-3月GDP▲0.6%（マイナスは9四半期ぶり）
個人消費が低調（値上げ、住宅投資減速）

●日銀 緩和維持だが2019年度ごろとしていた2%物価目標達成時期の文言を削除、持久戦へ
金融緩和が量から金利へ
①短期金利（-0.1%）②長期金利を0%へ誘導決定

新興国

回復と米金利上昇による揺れの背中合わせ

- ブラジル/2017年度GDP+1.0%（前年比）景気下落底打ちか
- インド/2017年10-12月期GDP+7.2%（前期比）
- アフリカ全体/18年から19年+4.1%まで上昇と予想（アフリカ開発銀行）
- トルコ/2017年GDP+7.4%（過熱感）の一方で利上げに
- アルゼンチン/対ドルでペリが40%まで下げる
- イラン/17年GDP+3.5%（昨年+12.5%）で急減、地政学リスクが影響か？

緩和マネー

緩和マネー